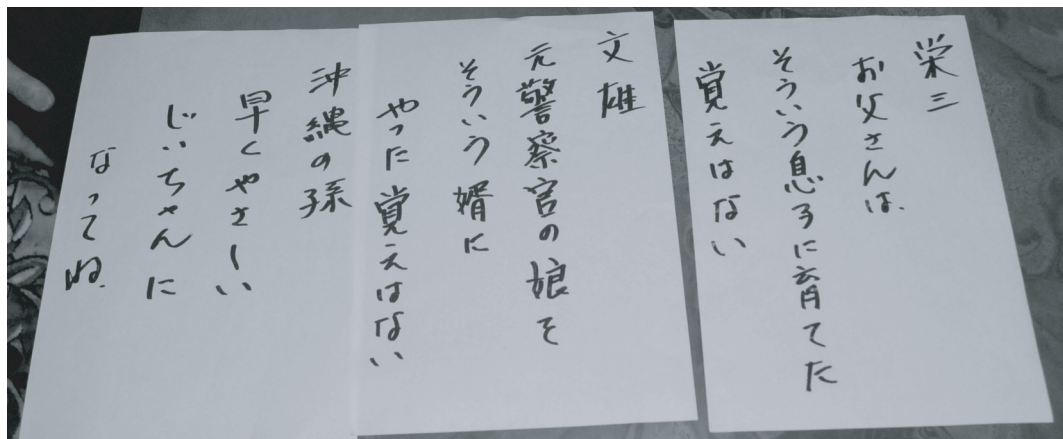


# 冤罪

## 公開シンポジウム

# 志布志事件とメディア

### なぜ「架空の事件」を見抜けなかったのか



取調べの際に行われた踏み字の内容を川畑さん本人が再現したもの

“冤罪なんて自分には関係ない”…そう思っていないですか？冤罪の被害に遭っているのは私たちとなんら変わらない、ごく普通に暮らしている人たちばかりです。何もしていないのに突然平穏な生活を奪われる。そんな辛い思いをしている人がここ日本にはたくさんいるのです。そして、冤罪とはいつ誰の身に降りかかってもおかしくないのです。もしあなたが、あなたの大切な人が、無実の罪を押し付けられたらあなたはどうしますか？実際に冤罪の被害に遭った二人と弁護士のお話を聞いて、冤罪について、日本の刑事司法のあるべき姿について考えてみませんか？

#### ・志布志事件とは

2003年4月13日に投開票が行われた鹿児島県議選に立候補、初当選した中山信一県議派による計191万円の現金授受があったとして、中山氏や妻シゲ子氏ら計13人（うち1人は公判中に死亡）が起訴（うち一人は在宅起訴）された。鹿児島地裁は07年2月23日の判決で12人全員を無罪とし、確定した。

事件は志布志市志布志町の人口わずか6世帯の集落で起こったとされたでっちあげの“買収事件”が発端で、「日本の刑事司法の病理が集約された事件」と言われる事件。警察・地検が2億円近い税金と120人を超す捜査態勢を敷いて、何もなかったところに「架空の事件」をでっち上げた。

連日長時間の取り調べを行って自白を強要、数カ月から一年以上にわたる長期勾留、違法かつ過酷な取り調べがあった。事件をめぐる最高検が07年8月、「反省すべき点は率直に反省しなければならない」などとして再発防止策を報告書にまとめている。

#### パネリスト



中山シゲ子さん



川畑幸夫さん



若松芳也さん

日時：5月29日（木）18：30～20：30

場所：今出川キャンパス・明德館21番教室（M21）

**事前申し込み不要・無料**

主催：同志社大学 社会学部 浅野健一ゼミ  
〒602-0047 京都市 上京区 今出川通烏丸東入